

# 橋本けいいち 熱血通信

市政活動報告[2018 Vol.1]

〒981-3213  
 仙台市泉区南中山3丁目4-24  
 TEL (022) 773-3083  
 FAX (022) 376-5232  
 Email: hashihashi@nekketsu.net



皆様こんにちは。常日頃、多方面より大きなお励ましをいただき、心から感謝申し上げます。少子高齢化の進展する中、たくさんの方々が「仙台に住んで良かった」そんな街づくりにこれからも取り組んで参ります。議会活動等について、ご報告させていただきます。

## 身近な市政情報

### 1 35人以下学級の拡充に伴う費用見込み(試算)について

前提となる生徒数は予算案作成時の児童生徒数を用いており、次年度は在籍する生徒がそのまま進級するものとし、同数を仮定しています。又、教職員人件費においてはH30年度は常勤講師単価を、H31年度は正職員単価を用い計上し、少人数学級が進められます。

学級数・教職員数・教室整備数・人件費・物件費の増加分

	平成30年度	平成31年度
対象学年	中学2年生	中学2・3年生
学級数	30学級	63学級
教職員数	44名	86名
教室整備数	264,000千円	731,000千円
人件費	22教室	—
物件費	44,016千円	25,000千円
経費合計	308,016千円	756,000千円

### 2 浸水対策への補助制度が拡充されます

仙台市ではこれまで耐水浸透ます及び耐水貯留タンクの設置補助制度、土のう配布に取り組んで参りましたが、こうした補助制度の拡充が6月から図られます。

1. 雨水流出抑制施設設置費補助制度の対象地域の拡大  
 ○住宅等の敷地に雨水流出抑制施設を設置する場合、予算の範囲内で補助金交付されます。

雨水浸透ます

・4個までの設置費相当額(1個あたり上限30,000円)で、新築の場合4個までの設置費用相当額の1/2(1個あたり上限15,000円)

雨水貯留タンク

・浸透ますとセットで設置する時、1個の材料相当額(上限20,000円)で、貯留タンク単独の場合、1個の材料相当額の1/2(上限10,000円)

2. 土のうステーションの追加

これまで下水道北管理センター、下水道南管理センター、青葉区役所、宮城総合支所、秋保総合支所の5ヶ所に設置しておりましたが、新たに若林区役所、太白区役所、泉区役所、宮城野区新田東道路用地の4ヶ所が追加されます。

※詳細については仙台市ホームページ、市役所各区役所に配置されているチラシをご覧ください。

### 3 災害救助法改正案が成立しました

仙台市は指定都市市長会と連携し、大規模災害時に被災者への救助をより円滑かつスピーディーに行う為、政令指定都市が救助の実施主体と位置付けられるよう、法改正を国に強く求めてきましたが、「災害救助法の一部を改正する法律案」が閣議決定となりました。法律が成立した後、宮城県と協議を行い、速やかに救助の実施主体となるよう手続きを進めます。

○内閣総理大臣が申請に基づき救助実施市を指定

○指定に際しあらかじめ都道府県知事の意見を聴取

○都道府県が食料や住宅資材等の救助に必要な資源の調達・配分の市町村間の連絡調整を実施

○平成31年4月1日から施行されます

### 4 仙台市民会館設備改修工事の為休館となります

昭和48年開館した仙台市民会館の老朽化に伴い、全館の排水管・舞台照明・音響システムの改修工事が行われ、しばらくの間休館となります。休館の期間は平成30年8月24日(土)から平成31年5月14日(火)までとなります。大変ご迷惑をおかけ致します。

### 5 旧松陵小学校跡施設を活用した県立特別支援学校分校の開校について

平成25年4月に松陵小学校と松陵西小学校が統合され、旧松陵小学校校舎跡施設が県より協力依頼を受け、県立小松島支援学校として4月より開校致しました。

かねてから校舎の跡地を特別支援学校として活用することを私は提言して参りました。学校施設全体を無償貸与し、必要な改修及び維持管理は宮城県が実施することになります。

児童生徒数 小学部8名 中学部2名

教職員数 副校長1名 教諭17名

### 6 保育施設等の待機児童数について

仙台市における新年度(平成30年4月)の保育所の利用待機児童数は、昨年度に比べ94人減の138人となっています。

○平成29年度に行った待機児童解消の主な取り組み

1. 保育所、小規模保育事業の整備を行い、施設・事業等を40ヶ所、入所定員1558人分を拡充しました。

2. 保育士養成施設の卒業予定者や保育士資格保持者

## 橋本けいいちプロフィール

○経済環境常任委員会委員

○新たな本庁舎・議会棟の整備調査特別委員会副委員長

○仙台市農業委員

○仙台市廃棄物対策審議会委員

○仙台市介護保険審議会委員

○仙台市景観総合審議会委員

○仙台市スポーツ市議の会会長

○仙台ウォーキング協会理事

○仙台・東北フィジーク共和国経済文化交流協会会長

昭和41年仙台市泉区生まれ

宮城県仙台第三高等学校卒 東北学院大学法学部卒

で、現在就労していない方を対象とした採用情報説明会を開催しました。

3. 入所申込者で2回目の利用調整保留の方に対する追加の利用調整を行いました。

○平成30年度の待機児童解消の新たな取り組み

1. 保育所や小規模保育事業等の整備を行い入所定員約

950人分を拡充して参ります。

2. 経験年数3年未満の若手保育士に対し1人当たり月額5000円の助成金をはじめ、保育士用宿舍の借り上げ費用助成、職員が研修に参加する際の代替職員にかかる人件費の一部助成を行います。

## 仙台市議会 平成30年度予算等審査特別委員会質疑・答弁(要約)

### 高齢者等ごみ出し支援事業について

**橋本の質問** 高齢で自力でごみが出せなくなった、ごみ出し困難世帯が、全国で約5万世帯以上あると言われております。本市の高齢者人口はおよそ24万人であり、今後更に増加致します。又障害者の方々も約4万8千人余りであります。私は以前より提起して参りましたが、こういった方々のごみ出しを手助けする地域団体への補助制度が進められるわけですが、予定する事業の概要を示して下さい。

**答弁** この事業は日常生活の支援が必要な高齢者や障害者の方々のごみを地域団体等が集積所まで運んでいただく活動への補助を行うもので、1回につき140円と設定し家庭ごみ、プラ等への排出した回数に乗じた金額の交付を考えております。

**橋本の質問** この支援事業は既に東京都23区を初め、横浜市、名古屋市、大阪市でも取り組まれており、直営収集や地域団体協力による支援など様々であります。これらの取り組みは高齢者・障害者への見守りや地域コミュニティの活性化など、世代間交流にも繋がるものです。仙台市は実情の把握を行うと共に、地域団体や介護事業者とどう聞き取りを行っておりますか。

**答弁** 町内会や地区社会福祉協議会、介護サービス事業者等からは高齢化が進行する郊外団地はニーズが増えてくることや、介護サービス提供日とごみ収集日が合わないこと等、支援の仕組みがあると良いとご意見をいただいたところでです。

**橋本の質問** 支援する対象として他都市では要介護2以上の方、もしくはホームヘルパー利用者を対象にしておりますが、私は要介護認定されホームヘルパーを利用していなくても対象としても良いのではないかと考えます。対象はどうするのか、どの程度の世帯を想定していますか。

**答弁** 要介護認定を受けている高齢者の方や障害者手帳を持っている方で、世帯の中に他に支援できる家族がいない方を考えています。支援対象世帯は約170世帯を見込んでおります。

**橋本の質問** 国の機関の調査結果では高齢者世帯のみの10万世帯の内の約1%、1000世帯がごみ出し支援困難世帯と想定しております。本市の1%では約800世帯前後が想定されますが、なぜ170世帯程度となるのか。又利用者が増加した場合の対応について伺います。

**答弁** 千葉市や新潟市を参考に0.4%と見込み制度開始を10月からということを踏まえ、この半数の170世帯

と考えたところですが、制度の周知が進み対象者が見込みよりも増加した場合、柔軟に対応して参ります。

**橋本の質問** 支援をいただく地域団体は必要不可欠であります。町内会・PTA・子供会・地元スポーツ少年団・地元大学のボランティアサークルなど、様々な世代が関わり、つながりを持つことは重要であります。想定する支援団体をどう考えておりますか。

**答弁** 町内会や地区福祉協議会、民生委員児童委員協議会・老人クラブ・NPO法人等にお力をお借りしたいと考えておりますが、特定の団体に限定せず、幅広く協力をお願いしたいと考えます。

**橋本の質問** 制度を作っただけであとは地域にお任せするのではなく、しっかり効果が発揮されるよう、責任を持って関わっていくことが必要です。地元子供会・育成会・PTAの方々にお話を伺いましたが、こういった団体にどう働きかけ、担い手を確保していかれますか。

**答弁** 支援を希望する高齢者からお話をいただいた際には、現場に出向きお声を伺いながら地域団体などとのマッチングにつなげ、学生などとの連携を図り担い手確保に努めて参ります。

**橋本の質問** 団体の確保にあたり福祉事業サービス団体の方々との連携は欠かせません。地域包括支援センター等との情報共有を図り、実効性のあるものにしなければなりません。いかがですか。

**答弁** 日常生活について対応している関係部局や福祉サービス事業者との連携は欠かせません。町内会や民生委員等との会議や研修会などの機会に参加するなど、説明するよう取り組んで参ります。

**橋本の質問** 1ヶ月あたり家庭ごみや、プラ・缶・瓶など約14回程度の収集があります。年間9万円程度見込まれるわけですが、そもそもなぜ140円ですか。又補助金の用途については支援団体にお任せするという点で良いと考えますが、いかがですか。

**答弁** 他都市の事例では1回当たり150円、月額1000円の場合は1回125円などがあり、これらを参考に140円を基礎額といたしたところで。補助金の活用先については謝礼や活動費などに充てることを想定しており、有効に活用いただけるように努めて参ります。

**橋本の質問** 高い高齢化率の中で快適な生活環境をつくる為には、大変有効な取り組みであります。京都市では開始時期から7倍の約3900世帯、横浜市でも開始時より11倍になるなど、又、新潟市では年間600万円を見込んでおります。この事業に向けた意気込みを伺います。

**答弁** 将来のニーズの高まりを考慮し地域の支えあいという形での制度であり、地域団体との連携を密にし

事業実施に向けて準備を進めて参る所存であります。

## 仙台市議会 平成30年予算等審査特別委員会継続議案質疑・答弁(要約)

### 学都フリーパスの値上げについて

**橋本の質問** 市バスの経営が大変厳しい状況の中にあっても、市民の足としてしっかりと役割を果たしていただくには、職員一人一人が行動していかねばなりません。学都フリーパスは市バス・地下鉄を児童から学生に至るまで積極的に利用してもらう為の制度であり、利用者増が見込める施策ですが、これまでの利用推移をお示し下さい。

**答弁** 将来の利用者増加に向けた施策であり、平成27年度は約964万人、平成28年度は約773万人と減少しております。

**橋本の質問** 地下鉄東西線開通後はこのフリーパスに影響はあったのですか。またどれくらいの学生がバス・地下鉄を利用しておりますか。

**答弁** 地下鉄東西線開業により、開業前と比較し2割強減少しております。バス利用は1万6000人、地下鉄は1万4000人です。

**橋本の質問** 学都フリーパス購入促進に向け、これまでの取り組みを示して下さい。又経営改善計画の具体的な進捗状況はどうですか。

**答弁** 一定数の販売が見込める学校では発売窓口にお越しいただかなくても購入でき、一括購入申込受付販売方式を実施し、オープンキャンパスや合格者説明会での利便性PRパンフレットの配布を行い、ポイントが当たるアンケートキャンペーンを開催しております。経営改善計画については運行経路の見直しと需要動向に応じた便数調整やバス発着時刻表示機の設置、バス接近情報の提供を行いました。バス運転手の育成と採用を行い、必要数の確保をしてきたところです。

**橋本の質問** これまでの施策の検証が充分行われずフリーパスの値上げに唐突感がありましたし、改善計画を更に進めることが先ではなかったのではないかと。

**答弁** 学都フリーパスはわかりやすい金額設定であり、低廉な金額であります。需要動向に応じた便数調整費用削減と共に、低廉なフリーパスの運賃を見直し、収支の改善を図ることとしたものです。

**橋本の質問** こういった値上げや減便はどうしても利用者の利用意欲をそいでしまうことになりかねないし、バス離れにつながってしまうのではないかと危惧するものですが。

**答弁** 一定の利用者のバス離れに繋がるものと認識するものですが、見直し後もお得な定期券であり引き続き多くの方々にご利用いただけたと考えております。便数調整は利用の少ない便を対象に実施致しました。交通局の置かれている経営状況に鑑み、経営健全化団体に陥ることを回避する為、苦渋の決断を行ったもの

であります。

**橋本の質問** 残念ながら既に交通局単独では改善することが難しい限界の状況に来ているのではありませんか。交通政策に関わる都市整備局の認識を伺います。

**答弁** 公共交通利用促進に向け様々な取り組みを推進して参りましたが、取り組みを強化しさらなる利用促進に取り組んで参る所存です。

**橋本の質問** 今年度スタートした地域交通スタート事業とバス事業の連携について、バラバラに進めるのではなく連携を図り取り組む必要がありますがいかがですか。

**答弁** 乗合タクシーの運行について、乗り継ぎがスムーズに行くよう、既存の公共交通と連携した利用がなされるよう意見を交わしながら工夫して参りたい。

**橋本の質問** より一層の利用者確保に向けた取り組みとしては、観光客向けの一日乗車券、回数券、観光イベントと連携したチケットなど、効果を上げる取り組みが必要ですか。文化観光局はどういった連携を図り、どう進めるつもりですか。

**答弁** 昨年からは外国人観光客に向けた周遊券、仙台エリアパスを導入しており、今年は地下鉄一日乗車券付き記念グッズ販売を行うなど連携企画を実施しております。社会教育施設と連携したサービス等についても研究して参りたいと思います。

**橋本の質問** 地域の高齢化に対応した敬老パスを考えた時、今後高齢者による免許返納者へ対応して利用促進に繋げるとことも必要ではないでしょうか。健康福祉局の認識を伺います。

**答弁** 敬老パスの交付率は63.8%となっており、この状況も踏まえ敬老パスの制度の周知、広報を図り利用促進にも繋がるよう努めて参りたいと思います。

**橋本の質問** 学都フリーパスの学生証の導入を図り、又時間帯での安い運賃設定など利用者増に結び付けるべきではないですか。

**答弁** バス・地下鉄利用の約9割にイクスカを利用いただいております。今後身分証明証一体型イクスカの活用を働きかけて参ります。新たな運賃制度設定については費用や収益への影響を考慮し研究して参ります。



**橋本の質問** 広島市では関係各局が積極的に協力し、民間バス事業者も参画し地域公共交通網形成計画を策定し取り組んでおります。高齢化に対応したエリアごとの街づくり、バスネットワークの再構築、サービスレベルの低い地域へのバス路線の設定などあらゆる視点からの市民も巻き込んだ取り組みがありました。本市もこういった実行が求められているではありませんか。

**答弁** 広島市の形成計画は行政、事業者、市民など市民協働での取り組みが進められたものと理解しております。本市の次期都市交通プランを策定する上で参考として参りたいと考えます。又、利用されている1万6000人余りの学生をしっかりと応援して参ります。

**橋本の質問** そもそも学都フリーパスは市営バスエリアに限定された不公平感のあるものですが、やはり何としても市バスに乗って欲しいという思いがしっかりと伝わるように取り組むべきです。いかがでしょうか。

**答弁** ご指摘のように不公平感のあるものと改めて認識しているところです。一方で整理すべき課題もあり、何より財源の確保も必要となるものであります。しっかりと検討して参りたいと思っております。

**橋本の質問** 確認致しますが来年10月1日には消費税が10%に改定される予定ですが、今回の値上げもその後の10%による上乗せが心配となります。どのような取り組みを考えておられますか。

**答弁** 現在の経営状況を見ると税率アップ分を吸収できる経営体力はないことから、運賃に転嫁せざるを得ないものと考えます。

**橋本の質問** 市長部局が中心となって取り組む状況にあると思います。利用されている1万6000人余りの学生にしっかりと応援の手を差し伸べる、その気持ちを持っていく必要があります。市長の決意を確認します。

**市長の答弁** 高齢者の方や障害を持った方々にも優しい公共交通を持続していく為に、「せんだいスマート」を拡充し、中心部のにぎわい創出などに取り組み、区役所も含め全庁挙げてこのバス事業を支えていくことを改めて申し上げさせていただきたいと思っております。

質問内容と答弁の詳細については、**仙台市議会のホームページ**からご覧いただけます。

仙台市議会ホームページアドレス  
<http://www.gikai.city.sendai.jp>

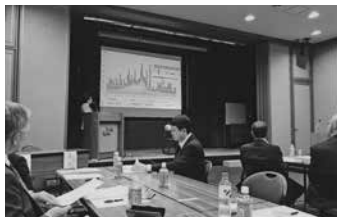
## 活動レポート



2018年4月  
待望の「仙台市消防航空隊庁舎の開所式」に参加しました。宮城県防災ヘリコプター管理事務所と共に仙台空港の隣接地に整備され、広域的な防災等の拠点として大いに期待したいと思っております。



2018年4月  
泉区役所に設置された市内区役所初の子ども遊び場「いずみズーランド」が泉区役所1階にオープン致しました。以前より多くの子育て世代より私も要望いただいておりますが、民間団体協力のもと設置の運びとなりました。是非ご利用下さい。



2018年5月  
仙台商工会議所の開催による「官民連携によるまちづくり」のセミナーに参加しました。地域での官民連携においた事例を踏まえ、複合施設を利用した地域の魅力アップ、活性化の取り組みについて研究をして参りました。本市の施策にどう活かすかが今後の課題です。



2018年5月  
「市役所と区役所の窓口サービスの更なる向上」を目的に、政令市の中でも先進的な大阪市及び静岡市を視察・調査を行いました。市民の生の声や第三者の評価を活かし、職員意識の向上に対する改善策について議論を行いました。



2018年6月  
私が議会において提案致しました、市内統廃合による旧松陵小学校校舎を利用した特別支援学校の開校式に出席。特別支援学校小松島港の分校として、今後更に子供達の環境の充実に取り組んで参ります。



2018年6月  
市民の健康増進に取り組んでいる日本ウォーキング協会主催によるイベントに参加。ウォーキング認定指導者から正しい歩き方や健康づくり、ウォーキングに関する様々な情報とコンテンツが提供され、多くの方々と共に学びました。



2018年6月  
海外の国々と繋がる事が更に期待される国際拠点港湾「仙台塩釜港」のふ頭再編改良事業の着工式に出席しました。コンテナ船入港数やコンテナ取扱貨物量の増加に対応したターミナルの機能強化によって、東北の国際競争力がアップし産業の立地が加速することが目的となります。



2018年6月  
仙台中央卸売市場・食肉市場業務開始43周年記念事業として「食肉まつり」が開催されました。今年も多くの市民の方々にご来場いただきました。仙台産のおいしい食肉の更なる普及と啓発を進めて参ります。

**皆様のご意見ご要望等どしどしお聞かせ下さい。お待ちしております。**  
TEL(022)773-3083 FAX(022)376-5232 Eメール : hashihashi@nekketsu.net